

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第2区分

【発行日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【公開番号】特開2004-122214(P2004-122214A)

【公開日】平成16年4月22日(2004.4.22)

【年通号数】公開・登録公報2004-016

【出願番号】特願2002-293233(P2002-293233)

【国際特許分類第7版】

B 2 2 D 41/50

【F I】

B 2 2 D 41/50 5 2 0

B 2 2 D 41/50 5 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成16年7月27日(2004.7.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

図2は本願請求項1に対応する鑄造用上ノズル10の一実施形態の断面図を示すもので、テーパ面部10aの先絞りの先端部に接続されノズル受け煉瓦2の内孔2aの円筒状孔部2cに嵌合する円筒状部10bの外周面周方向に複数条(図では3条)の打ち欠き用凹溝11₁, 11₂, 11₃が所定の間隔をおいて形成されている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

図3は本願請求項2に対応する鑄造用上ノズル10の一実施形態の断面図を示すもので、テーパ面部10aの先端にノズル受け煉瓦2の内孔2aの円筒状孔部2cに嵌合する円筒状部10bを構成するリング状耐火物12が取り付けられ、このリング状耐火物12の外周面周方向に複数条の打ち欠き用凹溝11₁, 11₂, 11₃が等間隔に形成されている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

図6に示すようにノズル受け煉瓦2の円筒状孔部2cの内周面に地金等の付着物Sが付着している場合は、上ノズル10の挿着時にその付着物Sが障害となる先端部分を図4に図3の上ノズル10を例にとって示すようにその位置の打ち欠き用凹溝(11₂を例示)の部分で先端側をハンマー等で打ち欠いて除去し、図5のようにノズル受け煉瓦2の内孔2aに下方から挿入すれば、付着物Sの存在に拘らずに上ノズル10を所定の位置へ挿着することができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】

